

令和5年度

事業計画書・収支予算書

公益財団法人東松山市農業公社

# 資料目次

<b>I</b>	<b>事業計画</b>	<b>1</b>
<b>第1</b>	<b>基本方針</b>	<b>1</b>
<b>第2</b>	<b>経営方針</b>	<b>2</b>
1	執行体制	2
2	資金計画	2
<b>第3</b>	<b>事業計画</b>	<b>3</b>
1	農地中間管理事業	3
2	担い手育成・支援事業	5
(1)	担い手育成・支援事業	5
(2)	農林公園担い手育成事業	6
3	農業機械の有効利用に関する事業	7
4	農作業受託事業	8
5	地域農産物育成事業	9
(1)	東松山市戦略作物育成事業	9
(2)	ぼろたん等特産果樹普及事業	10
(3)	東松山農産物ブランド加工品育成事業	11
(4)	東松山農産物等販売促進事業	12
(5)	地域農産物育成事業	13
6	情報発信について	13
<b>II</b>	<b>収支予算</b>	<b>14</b>
	収支予算書	14
	収支予算書内訳表	16
<b>III</b>	<b>資金調達等</b>	<b>18</b>
	資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	18

# I 事業計画

## 第1 基本方針

農業は、食料の安定供給及び国土や自然環境の保全などを通じて、市民生活の安全・安心を築く「生命産業」として重要な役割を果たしています。また、他産業との結びつきによる地域経済の発展や農村が有する美しい田園風景が都市住民に安らぎを与えるなど、豊かな市民生活の実現に大きく貢献しています。

東松山市の農業は、令和2年には1,440haの耕地面積を擁し、水田農業を始め、梨や栗などの果樹や多種多様な野菜・花きの生産が行われてきました。しかし、近年、宅地等への転用、農業従事者の減少・高齢化によって経営耕地面積は減少の一途をたどり、本市の農業は徐々に厳しさを増しています。

東松山市では、農業総合戦略として平成29年3月に「東松山市農業振興ビジョン」を策定しました。「安全な農産物づくりとブランド化が進み、収益性の高い農業が営まれるまち」を将来像に掲げ、その実現に向けて農業の担い手の育成・確保や農畜産物のブランド化などに取り組んでいます。

東松山市農業公社は、市のビジョンを具現化するために、目的を明確にして、施策を絞り込み、効率的かつ効果的に実行します。

具体的には、安定的かつ効率的な農業経営の実現のため、

- ①農業の担い手への農地利用集積
- ②農業の担い手の育成
- ③新規就農者への支援
- ④農畜産物の加工品開発と販路の開拓
- ⑤地域の特性に応じた産地化支援

を5本の柱として東松山市、埼玉県及び埼玉中央農業協同組合その他関係団体と緊密な連携を図りながら事業を進めて行きます。

## 第2 経営方針

### 1 執行体制

簡素で効率的な公社経営を行うため、最少の人員をもって組織を構成し、事業を着実に推進する。

令和5年度における事務局職員数 5人※

※派遣職員及び臨時職員を除く

### 2 資金計画

令和5年度における資金導入計画は、次のとおりとする。

(1) 長期借入金 なし

(2) 短期借入金 なし

(3) 補助金等

東松山市交付金 34,800千円(予算要求額)

## 第3 事業計画

### 1 農地中間管理事業 ※1

#### 【概要】

令和元年度まで、「農地利用集積円滑化団体」として、農地の利用権設定（貸付・借受）による農地活用の活性化を進めてきた。

令和2年度以降は、農地中間管理機構※2からの受託業務により、農地所有者と利用者を仲介し、農地中間管理事業に係る利用条件の調整や書類手続等の業務を継続して行っている。

#### 【取組方策】

- ① 農地利用集積円滑化事業で設定した利用権の農地中間管理事業への一括承継が概ね完了したが、利用権設定期間満了時の条件再調整及び書類作成等の更新事務を行う。
- ② 「人・農地プラン※3」に位置付けられた担い手に対して農地利用集積を推進する。
- ③ 東松山市及び市農業委員会と役割を分担して農地中間管理事業推進計画に基づく事業を着実に進める。

ア 農地利用集積円滑化事業から農地中間管理事業への円滑な移行（承継）

- ・ 令和5年度中に設定期間満了となる利用権について、農地中間管理事業への移行事務手続きを行う。

イ 農地中間管理事業等の推進・継続に係る事務分担

○ 東松山市・市農業委員会

- ・ 地域推進型地区（古凍、下田木・赤城、毛塚、川辺）の農地集積
- ・ 利用権設定満了時の更新に係る所有者存否確認、当事者の意思確認、利用条件調整、書類作成

○ 農業公社

- ・ 新規利用権設定に係る利用条件調整、書類作成
- ・ 農地中間管理事業の対象とならない農地（園芸ハウス用地、果樹園、利用料物納農地）の貸借に係る利用条件調整を含めた事務手続きのサポート

- ※ 1 農地中間管理事業：農地の効率的な利用に向け、その集積を促進するため、埼玉県では埼玉県農林公社が、農地の所有者から農地を借受けて、耕作者に農地の貸付けを行うこと等を内容とする事業をいう。
  
- ※ 2 農地中間管理機構：農地の有効利用や農業経営の効率化を進める担い手へ農地の集積・集約化を進めるために、各都道府県にひとつ設置された農地の中間的受け皿となる組織。埼玉県では、（公社）埼玉県農林公社を機構に指定している。
  
- ※ 3 人・農地プラン：高齢化や後継者不足、遊休農地の増加などの地域における人と農地の問題を解決するために市町村が地域の将来の担い手と農地利用の在り方を定めた計画をいう。

## 2 担い手育成・支援事業

### (1) 担い手育成・支援事業

#### 【概要】

新規就農者の確保・育成を図るため、新規就農を目指す者を対象とした相談会などを市内、都内で開催する。

また、「農業塾」を設置し、就農希望者への研修を行うとともに、より本格的な農業経営を目指す者を対象に、実践型の「農業経営塾」を開催し、新たな担い手として育成する。

更に、「東松山農業者会NEXT」※1の構成員などに対し、経営の安定と向上に向けた支援を行う。

#### 【取組方策】

- ① 就農相談会やほ場見学会を開催し、就農希望者の相談に応じるとともに農作業の体験機会などを提供する。
- ② 農業塾（野菜コース・梨コース）を開催し、新規就農に向けた研修を行うことにより、希望者の就農に向けた動機づけと能力向上を支援する。
- ③ 研修終了後は地元農業者の元で栽培管理に従事することで担い手として活動できるよう支援する。
- ④ 若手農業者グループの経営安定と向上を支援する。

#### 【目標値】

区 分	定 員	講 師
農業塾（野菜コース）	10 人	県職員、農業公社職員
農業塾（梨コース）	3 人	県職員、農業公社職員

※1 東松山農業者会 NEXT: 東松山市内に居住する青年農業者又は就農を志す者で組織する団体。(20人、平成25年設立)

## (2) 農林公園担い手育成事業

### 【概要】

「東松山市農林公園」での露地野菜担い手育成業務の受託により、園内の体験・研修農場を活用した休日研修、収穫体験、栽培展示を行う。

また、園内果樹エリアの温州みかん、ブルーベリーの栽培管理の受託により、早期の収穫を目指して果樹を養成する。

### 【取組方策】

#### ① 露地野菜栽培研修休日コース

担い手育成のための栽培管理及び収穫体験を通じた販売の研修、新品目・新品種等の展示

#### ② 果樹若木の養成

施肥、除草、病虫害防除、灌水、せん定等を適期に行い、結実できる樹に養成する。

令和5年に温州みかんとブルーベリーの収穫体験を開始する。

### 【目標値】

#### 露地野菜

区分	内容	回数・品目	人数
農業研修	露地野菜栽培研修	15回	5人
収穫体験	野菜の収穫体験	10回	—
栽培展示	栽培展示(鳥獣害対策含む)	3品目	—

#### 果樹

区分	品種・定植本数	うち健全樹
温州みかん	6品種 94本	88本
ブルーベリー	5品種 122本	93本

### 3 農業機械の有効利用に関する事業

#### 【概要】

農業機械の調達等の初期投資費用の負担を軽減することにより農業経営の早期安定を図るため、公社が農業機械を保有し就農者に貸し付ける。

制度の運用に当たっては、就農後一定期間は利用料金の減額措置を講じるなど、農業経営者の視点に立って運用する。

#### 【取組方策】

- ① 保有機械の点検整備を着実に行うとともに、利用者に対して安全な利用を促すことで、農作業の安全を図る。
- ② 利用実績を踏まえた更新及び新規導入計画を作成し、合理的かつ効率的に農業機械を装備する。
- ③ 機械の維持・更新を念頭に置いた利用料金を設定する。

#### 【目標値】

機 械 名	用 途	貸出件数※
トラクタ(50ps、40ps、23ps)	耕耘	30 件
	除草	20 件
田植機(5条)	田植	5 件
平高及び平畝整形同時マルチ	マルチ張り	35 件
ハンマーナイフモア	除草	55 件
乗用モア	除草	45 件
歩行型管理機	ほ場管理	10 件

※公社直営事業による利用件数を除く。

## 4 農作業受託事業

### 【概要】

農用地の荒廃防止、地域農業の継続性確保を目的として、一時的に農作業が困難になったり、高齢により経営規模の縮小を希望する農業者などからの依頼に基づき、公社が所有する農業機械を活用して、田植、稲刈りなどの農作業や草刈りなどの農地管理作業を行う。

### 【取組方策】

- ① 農作業(耕起、砕土、代掻、田植、稲刈り等)の受託により、農用地の適正活用を支援する。
- ② 草刈り作業等の受託により、農用地の荒廃防止に寄与する。  
なお、農用地として活用されていない農地や荒廃により直ちに耕作に用に供することが困難である農地等については、この事業の規定料金表を適用することなく、個別の作業内容に応じた見積料金で行う。

### 【目標値】

作業名	件数
田植	5件
稲刈り	20件
農地管理(草刈りなど)	45件

## 5 地域農産物育成事業

### (1) 東松山市戦略作物育成事業

#### 【概要】

「東松山市戦略作物研究会」※1が栽培に取り組むスイートコーン、カリフラワー、キャベツなどについて、農地の貸付け、栽培管理用機械の貸出し及び栽培方法の統一による生産拡大並びに加工業者への契約出荷による販売促進などを通じ、産地化を支援する。

栽培技術の高度化・平準化、生産の効率化及び販路の確保などの支援に当たっては、市、県（農林振興センター）、JA埼玉中央及びJA全農さいたま等と連携する。

#### 【取組方策】

- ① 市が推進する農作物の作付けについて、農地の確保、農業機械の利用、栽培技術指導などを通じ、戦略作物に係る産地化を支援する。
- ② 推進に当たっては、定期的開催される「品目別作付出荷検討会」などにより、農業者及び関係機関との連携に努める。
- ③ 特にスイートコーンの白い品種については、東松山市農業公社が商標登録を受けた「ハニーホワイト」の名称で販売されているが、規格に応じた商標管理を徹底することで品質の向上と均等化を目指す。

#### 【目標値】

区 分	スイートコーン	カリフラワー (ロマネスコを含む)	キャベツ
作付面積	170 a	170 a	140 a
人 数	8 人	8 人	8 人

- ※1 東松山市戦略作物研究会：新たな農産物導入による産地づくりを通じ地域農業の活性化などに貢献することを目的に設立された農業者団体。（17人、平成25年設立）

## (2) ぼろたん等特産果樹普及事業

### 【概要】

栗については、唐子地区の遊休農地を活用した栗の圃場「ぼろたん農園 ※1」において、樹勢回復と樹形改善により収穫量の増加に取り組む。また、栗栽培者に対して栽培技術を普及することにより品質の向上と収穫量の増加を図る。

梨については、梨栽培者に対して、新植や老木樹の改植を提案し、梨園の若返りを図ることで次世代への継承がしやすい基盤を整える。また、新植や改植の機会には早期の収量確保のための早期成木化技術の導入を勧める。

### 【取組方策】

- ① 「ぼろたん管理組合 ※2」と協力して、栗の剪定、除草、防除、施肥等の適正管理に努め収穫量の増加を図る。
- ② 栗の10年生の成木を3本主枝から2本主枝に、5年生（100本）と2年生（48本）のぼろたん若木を2本主枝や主幹形に仕立て直し、管理しやすい樹形に整える。
- ③ チェンソー、ハンディーチェンソー、乗用草刈機を積極的に導入し、栗樹の肥大成長に伴う剪定・伐採等の管理作業の省力化を図る。
- ④ 栗の剪定講習会等を定期的で開催し、既存栽培者の技術水準の向上と新規栽培者の育成を図る。
- ⑤ 梨の苗木を新植する園や老木を改植する園に対して、早期成木化技術や管理しやすい平行整枝の導入を推奨する。

### 【目標値】

区 分	収穫量(収穫ヘース)	植栽本数等
栗(ぼろたん)	1,200 kg	536本
(利平)	350 kg	100本
(美玖里)	100 kg	100本
(石鎚)	200 kg	100本

- ※1 ぼろたん農園：新たな品種の普及と商品化を目指し、平成25年3月、下唐子地内の遊休農地3haを整備し、栗700本（ぼろたん400本、利平、美玖里、石鎚を各100本）を植栽。又、平成31年3月にぼろたん100本、令和4年3月にぼろたん48本を追加植栽。令和4年に堤防拡張のため12本を伐採。
- ※2 ぼろたん管理組合：施肥、除草、剪定、防除、収穫、選別等を行う。地元農家12人で構成、平成25年4月設立。

### (3) 東松山農産物ブランド加工品育成事業

#### 【概要】

市内で生産された特産農産物（栗、水稻、さつまいも）の高付加価値化を目指し、農商連携による農産加工の支援及び商品のPRを行い、農産物のブランド化を促進する。

#### 【取組方策】

- ① 食品製造業者、販売店、料理飲食店等への素材・加工品の供給やふるさと納税の返礼品としての販売にかかるルートづくりをサポートする。
- ② 東松山市内の食品加工業者及び関係機関等と連携し、市内特産農産物を使った商品の開発支援を行う。
  - ・栗…むき栗を使った炊込ごはん等のレトルトパック商品を試作する。
  - ・さつまいも…焼きいもを通年供給できるよう冷凍保存できる商品を試作する。

#### 【目標値】

区 分	製品の種類	支援内容
-----	-------	------

栗	甘露煮 ペースト(一次加工)  渋皮煮 むき栗	4品種作成・セット販売 地元ケーキ店での新製品への活用支援 大粒果実で試作 炊き込みの素を試作 くりごはんのレトルトパックを試作
さつまいも	冷凍焼きいも	冷凍焼きいもの試作と保管方法の検討

#### (4) 東松山農産物等販売促進事業

##### 【概要】

市内で生産された農産物及びその加工品について、カタログやチラシを作成するとともに、東松山市農業祭を始め、市内直売所、百貨店や量販店などで開催される各種イベントや販売促進キャンペーンにおいて、販売促進活動を支援する。

併せて、農業者団体が市内で生産された農産物等を出店販売する際に、必要な備品の貸出しを行うなど、農産物等のPR及び新たな販路の形成等を支援する。

##### 【取組方策】

- ① 市内外で開催する農産物等販売促進キャンペーンに参加、協賛することで特産農産物等の販売促進を支援する。
- ② 主に市内農業者で構成するグループを対象に「イベント等出展団体」として登録し、当公社が保有する備品(テント机類)の貸出しを行うとともに販売方法のアドバイスを行うなど、ハード・ソフト面の支援を行う。

##### 【目標値】

区分	目標	備考
カタログ作成	3,000冊	掲載品目の更新及びカタログ形式、デザインの見直しを検討

## (5) 地域農産物育成事業

### 【概要】

市民の食生活を豊かにするため、新規作物を試験的に栽培し、収量、品質について調査研究し、販売先等を研究する。

普及の可能性が高い作物については、東松山市戦略作物研究会等生産意欲の高い農業者に情報提供し、組織化し生産量の確保を図る。

### 【取組方策】

- ① 消費者や生産者のニーズにあった、作物、品種を選定する。
- ② 作業に当たっては、生産意欲の高い農業者と協力し、種子、資材及び栽培管理機械を提供し、管理方法を検討する。

### 【目標値】

試作物 かぼちゃ（貯蔵しやすい品種を選定）

## 6 情報発信について

### 【概要】

1 から 5 に掲げる事業において、その実施状況や関連する情報を複合的に発信することにより各事業の活性化を図る。

### 【取組方策】

- ① 主に、遊休農地、担い手育成、栽培技術、農業機械の貸出、農作業の受託、農業イベント及び販路開拓に関する情報を発信する。
- ② 公式ホームページ及びフェイスブック等のソーシャル・ネットワークキング・サービスを特性に応じて活用する。

## II 収支予算

### 収 支 予 算 書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公益財団法人東松山市農業公社

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
基本財産運用益	12	12	0
基本財産運用益(定期)	12	12	0
基本財産運用益(県債)	0	0	0
事業収益	11,750	12,051	△ 301
農地中間管理・集積円滑化事業収益	1,384	1,685	△ 301
担い手育成・支援事業収益	200	200	0
農林公園担い手育成事業収益	4,419	4,419	0
農業機械有効利用事業収益	1,000	1,000	0
農作業受託事業収益	1,900	1,900	0
地域農産物育成事業収益	847	847	0
ぼろたん等特産果樹普及事業収益	2,000	2,000	0
受取補助金等	34,800	33,000	1,800
受取東松山市補助金等振替額	34,800	33,000	1,800
雑収益	2	2	0
受取利息	1	1	0
雑収益	1	1	0
<b>経常収益計</b>	<b>46,564</b>	<b>45,065</b>	<b>1,499</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
事業費	34,954	35,487	△ 533
給料手当	13,544	13,110	434
臨時職員賃金	3,578	2,340	1,238
福利厚生費	274	190	84
法定福利費	637	631	6
旅費交通費	40	40	0
通信運搬費	115	331	△ 216
消耗品費	4,707	4,849	△ 142
修繕費	1,996	1,884	112
印刷製本費	419	419	0
燃料費	707	644	63
光熱水費	84	84	0
賃借料	3,998	4,323	△ 325
保険料	486	486	0
負担金	40	40	0
委託料	2,300	3,246	△ 946
諸謝金	420	420	0
減価償却費	1,609	2,450	△ 841
管理費	14,960	11,277	3,683
役員報酬	4,300	4,300	0
給料手当	4,584	4,467	117
臨時職員賃金	693	90	603
福利厚生費	118	82	36
法定福利費	273	271	2
旅費交通費	50	50	0

通信運搬費	270	54	216
交際費	60	60	0
消耗品費	369	71	298
修繕費	74	96	△ 22
印刷製本費	202	202	0
燃料費	62	42	20
光熱水費	209	209	0
食糧費	102	40	62
賃借料	1,279	411	868
保険料	211	157	54
負担金	322	297	25
委託料	1,602	237	1,365
租税公課	88	88	0
手数料	72	33	39
雑費	20	20	0
<b>経常費用計</b>	<b>49,914</b>	<b>46,764</b>	<b>3,150</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,350	△ 1,699	△ 1,651
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 3,350</b>	<b>△ 1,699</b>	<b>△ 1,651</b>
<b>2 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
受取補助金等(機械)	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,350	△ 1,699	△ 1,651
一般正味財産期首残高	166,432	157,283	9,149
一般正味財産期末残高	163,082	155,584	7,498
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	34,800	33,000	1,800
受取東松山市補助金	34,800	33,000	1,800
一般正味財産への振替額	△ 34,800	△ 33,000	△ 1,800
一般正味財産への振替額	△ 34,800	△ 33,000	△ 1,800
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,655	3,671	△ 2,016
指定正味財産期末残高	1,655	3,671	△ 2,016
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>164,737</b>	<b>159,255</b>	<b>5,482</b>

## 収支予算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
基本財産運用益	0	12	12
基本財産運用益(定期)	0	12	12
基本財産運用益(県債)	0	0	0
事業収益	11,750	0	11,750
農地中間管理・集積円滑化事業収益	1,384		1,384
担い手育成・支援事業収益	200		200
農林公園担い手育成事業収益	4,419		4,419
農業機械有効利用事業収益	1,000		1,000
農作業受託事業収益	1,900		1,900
地域農産物育成事業収益	847		847
ぼろたん等特産果樹普及事業収益	2,000		2,000
受取補助金等	20,635	14,165	34,800
受取東松山市補助金等振替額	20,635	14,165	34,800
雑収益	2	0	2
受取利息	1	0	1
雑収益	1	0	1
<b>経常収益計</b>	<b>32,387</b>	<b>14,177</b>	<b>46,564</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
事業費	34,954	0	34,954
給料手当	13,544		13,544
臨時職員賃金	3,578		3,578
福利厚生費	274		274
法定福利費	637		637
旅費交通費	40		40
通信運搬費	115		115
消耗品費	4,707		4,707
修繕費	1,996		1,996
印刷製本費	419		419
燃料費	707		707
光熱水費	84		84
賃借料	3,998		3,998
保険料	486		486
負担金	40		40
委託料	2,300		2,300
諸謝金	420		420
減価償却費	1,609		1,609
管理費	0	14,960	14,960
役員報酬		4,300	4,300
給料手当		4,584	4,584
臨時職員賃金		693	693
福利厚生費		118	118
法定福利費		273	273
旅費交通費		50	50

通信運搬費		270	270
交際費		60	60
消耗品費		369	369
修繕費		74	74
印刷製本費		202	202
燃料費		62	62
光熱水費		209	209
食糧費		102	102
賃借料		1,279	1,279
保険料		211	211
負担金		322	322
委託料		1,602	1,602
租税公課		88	88
手数料		72	72
雑費		20	20
<b>経常費用計</b>	<b>34,954</b>	<b>14,960</b>	<b>49,914</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,567	△ 783	△ 3,350
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 2,567</b>	<b>△ 783</b>	<b>△ 3,350</b>
<b>2 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
受取補助金等(機械)	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,567	△ 783	△ 3,350
一般正味財産期首残高	24,862	141,570	166,432
一般正味財産期末残高	22,295	140,787	163,082
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	20,635	14,165	34,800
受取東松山市補助金	20,635	14,165	34,800
一般正味財産への振替額	△ 20,635	△ 14,165	△ 34,800
一般正味財産への振替額	△ 20,635	△ 14,165	△ 34,800
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,655	0	1,655
指定正味財産期末残高	1,655	0	1,655
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>23,950</b>	<b>140,787</b>	<b>164,737</b>

### Ⅲ 資金調達等

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類  
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

#### 1 資金調達の見込みについて

借入れの予定	なし		
事業番号	借入先	金額	用途

#### 2 設備投資の見込みについて

設備投資の予定	なし		
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達の方法又は取得資金の用途